

THE  
WAKASA WAN  
ENERGY  
RESEARCH  
CENTER

〒914-0192 福井県敦賀市長谷 64 号 52 番地 1  
公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター

# エネ研ニュース Vol.143

<http://www.werc.or.jp/>

令和 2 年 4 月 30 日発行

## JAXAと研究連携・協力に関する覚書を締結

令和 2 年 4 月 16 日、若狭湾エネルギー研究センターは、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA) と、「宇宙放射線の部品・材料への影響評価を中心とした宇宙機の高度化・信頼性向上」を目的とし、研究連携・協力をに係る覚書を締結しました。

エネ研は、低エネルギーから高エネルギーまでを網羅できる 3 種類のイオンビーム加速器を有しており、宇宙空間での様々な放射線環境を模擬した放射線耐性評価試験が実施できる国内でも有数の施設です。

人工衛星などの宇宙機は、宇宙空間での放射線により生ずる電子部品等の誤作動や劣化が課題であり、その耐性評価試験の実施は、宇宙機の開発にたいへん有効なものとなっています。

エネ研では、これまで多くの大学、研究機関および企業と共同研究等を実施してきており、その成果や技術は、福井県が進めている超小型衛星開発にも大きく貢献しています。

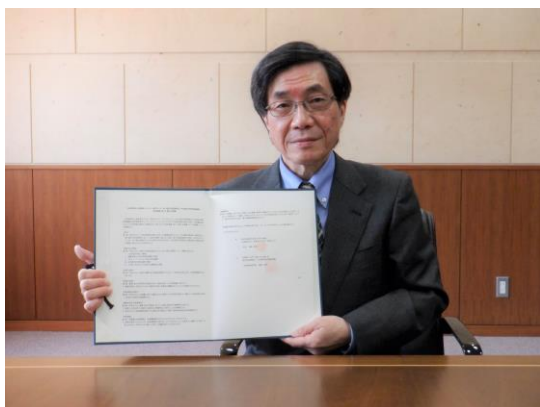
また、福井県が今年 3 月末に策定した「嶺南 E コースト計画」においても、エネ研は、宇宙開発分野等に重点を置いて研究を推進することと位置付けられています。

JAXA とは、これまでにも人工衛星搭載用の太陽電池や宇宙探査機搭載用機器の放射線耐性評価等に関して共同研究等を行ってきており、この度、協力関係をさらに強化して、宇宙機の高度化・信頼性の向上を目指した研究をさらに推進することに合意し、今回の覚書の締結に至りました。

覚書の締結を機に、これまで以上に JAXA との連携を強化し、県内企業、大学および研究機関との共同研究や、福井県が進める超小型衛星の開発等に活かし、宇宙産業の振興に貢献していきます。



エネ研のシンクロトロン



覚書を手にする  
岩瀬所長



プレスリリース  
2020 年 (令和 2 年) 4 月 16 日  
国立研究開発法人  
宇宙航空研究開発機構  
若狭湾エネルギー研究センター

### 宇宙航空研究開発機構と若狭湾エネルギー研究センターとの 研究連携・協力に向けた覚書の締結について

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 (以下、「JAXA」と) と公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター (以下、「WERC」と) は、「宇宙放射線の部品・材料への影響評価を中心とした宇宙機の高度化・信頼性向上」を目的とし、本日 4 月 16 日に、研究連携・協力に係る覚書を締結しました。

JAXA が研究開発を行っている各種の宇宙機の高度化・信頼性向上のためには、宇宙機に使用する部品・材料への宇宙放射線による影響の評価を正確に行うことが極めて重要です。一方、WERC は様々な加速器等の施設で宇宙放射線を模擬した照射試験を行う能力を有しています。

このため、JAXA 及び WERC は、WERC の保有する様々な加速器等の施設を活用した宇宙放射線影響評価を推進し、JAXA の開発する宇宙機の高度化・信頼性向上のため、本覚書を締結するとともに、本覚書に基づき、「技術交流会」を定期的に開催します。

また、今後はさらに、共同研究の相互提案、人材交流、セミナー、ワークショップ等を行い、連携を進めることで、我が国の宇宙産業技術の振興と研究の発展に貢献してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

宇宙航空研究開発機構 広報部  
Tel: 050-3362-4374

若狭湾エネルギー研究センター  
Tel: 0770-24-7270 (補付)

JAXA との共同記者発表資料  
(令和 2 年 4 月 16 日)

## 廃止措置工事に係る情報交換会を開催

令和2年3月27日、福井県内企業の廃炉業務への参入促進の一環として、エネ研において、日本原子力発電(株)敦賀発電所1号機と(国研)日本原子力研究開発機構新型転換炉原型炉ふげんの廃止措置工事に係る元請会社と県内企業との情報交換会を開催しました。

敦賀発電所1号機については平成29年3月に続き2回目、ふげんについては初めての情報交換会となります。

今回の対象工事は、敦賀発電所1号機の水素・酸素発生装置(水電解装置)解体工事、ふげんの原子炉建屋内Aループ側機器等の解体撤去工事でした。

2月17日から3月10日まで参加企業を募集したところ、県内企業32社47名から申し込みがありました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、全体説明会は中止とし、県内企業と元請会社(原電エンジニアリング(株)、(株)TAS)との個別面談会のみ実施しました。

個別面談会では、面談を希望した県内企業6社が各元請会社と個別に情報交換を行い、詳細な工事内容を確認するとともに、自社の技術力等をアピールしました。

エネ研では、今後も県内の原子力発電所の廃止措置工事に関する情報交換会等を開催し、県内企業の廃炉業務への参入を支援していきます。



情報交換会の様子

## エネ研の研究者が福大の特別研究員に就任

若狭湾エネルギー研究センターの石神主任研究員と鈴木主任研究員の両名が、国立大学法人福井大学から、特別研究員に委嘱されました。

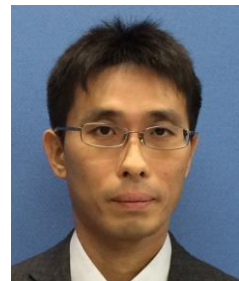
委嘱期間は令和2年4月1日から令和3年3月31日までの1年間で、今後、敦賀市にある同大学附属国際原子力工学研究所の原子炉構造システム・廃止措置部門において原子力工学に関する研究に協力していきます。

なお、原子炉構造システム・廃炉措置部門では、原子力プラントの安全性向上・環境負荷軽減を進展させるため、廃止措置に関する研究等を行っています(出典:同大学附属原子力工学研究所HP)。



研究開発部I社<sup>®</sup>-材料 Gr 主任研究員

いしがみ りょうが  
石神 龍哉



研究開発部I社<sup>®</sup>-材料 Gr 主任研究員

すずき こうたく  
鈴木 耕拓

本誌を読まれてのご感想、ご意見を下記担当あてお寄せください。また、エネ研では、福井県内の企業を訪問し、研究ニーズとシーズのマッチングを行っております。訪問をご希望の方も、下記担当までどうぞ。

郵便：〒914-0192 福井県敦賀市長谷 64-52-1

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当 あて

E-mail : kikakushien@werc.or.jp TEL : 0770-24-7270 FAX : 0770-24-7275

